

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1205
事業コード		事務事業名	中小商工業等金融対策事業	
根拠法令等	各種融資制度の要綱		Dその他	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業・工業

②事務事業の内容

対象（受益者）	事業を行うための設備資金・運転資金を必要としている商工業者に
手 段	市内金融機関へ県及び市から預託金を預け、低利の融資制度を設けることにより
想定する成果	経営の振興に資する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
預託金	357,000,000円	357,000,000円	390,000,000円
融資目標額	2,308,200,000円	2,308,200,000円	2,368,000,000円
件数	185件	151件	193件
融資実績額	778,290,000円	768,170,000円	899,347,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
	目標達成率	一件当り融資額
成果指標の説明	融資実績額／融資目標額	融資実績額／件数

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	38.0%
	実績	33.7%	33.3%	—
成果指標 ②	計画	—	—	4,660
	実績	4,207	5,087	—
事業費	事業費	357,000	357,000	390,000
	人件費	2,402	2,366	2,396
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	359,402	359,366	392,396
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	359,402	359,366	392,396

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	1	セーフティネット等、他の融資枠もあるため、利用度は少ない
経済効率性	3	2	預託金という形で金融機関に渡しているが、年度末には返してもらっている
事務効率性	2	2	保証協会の保証付のものは市が受け付けて現地調査しているが、最終的な決定権は市にはないし、決定まで時間がかかる
必要性	3	2	長引く不況の中で、融資を必要としている中小商工業者は多い
小計	10 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	2	1	対象者が商工業者に限られている
合計	12 /15 満点中	8 /15 満点中	
総合評価	A	B	商工業者の融資の円滑化を図り、活性化するためには必要と考える

⑦これまでに実施した改善点

申し込み受付から融資実行まで時間がかかったが、今まで以上に現地調査を速やかに実施するよう改善した。
制度の内容を周知するために広報への掲載を定期的実施した。

⑧今後改善すべき点

従来にもまして、広報等を通じて制度の周知を図り、実績を高めたい。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1205
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	商店街活性化事業（各種補助事業）	
根拠法令等	商業団体等事業費補助金交付要綱等		Dその他	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業

②事務事業の内容

対象（受益者）	近年衰退傾向にある商店街に
手段	補助金を支出することによって
想定する成果	活性化への取組みを支援し、地域コミュニティの再構築を図る。

③事業の概要

項目	平成14年度実績		平成15年度実績		平成16年度計画	
総事業費	19,146,782円		21,090,404円		58,058,995円	
補助対象額	19,146,782円		21,090,404円		43,876,995円	
補助金交付額	7,707,000円		11,251,000円		19,943,000円	
商業団体等事業費補助金	5件	1,194,000円	6件	1,839,000円	8件	10,092,000円
ソフト事業補助金	3件	533,000円	4件	1,527,000円	3件	1,500,000円
街路灯等電灯料補助金	8件	5,980,000円	8件	7,885,000円	8件	8,351,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
	総事業費に占める補助金の率	補助対象額に占める補助金の率
成果指標の説明	補助金交付額／総事業費	補助金交付額／補助対象額

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	34.3%
	実績	40.3%	53.3%	—
成果指標 ②	計画	—	—	45.5%
	実績	40.3%	53.3%	—
事業費	事業費	7,707	11,251	19,943
	人件費	1,681	1,656	1,677
	(人数)	0.7	0.7	0.7
	合計	9,388	12,907	21,620
財源内訳	国			
	県	1,466	1,720	2,145
	市債			
	その他			
	一般財源	7,922	11,187	19,475

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	補助率はともかくとして、補助対象額はかなりの幅をもっているため、達成度は高いと思われる。
経済効率性	2	2	事業内容によって20%から70%（街路灯補助）であるが、有効に利用している。
事務効率性	3	2	前年に各団体から要望書を徴収しており、それに基づき予算化しているため事務効率は良好である。
必要性	2	2	事業を計画するうえで、当初から補助金をあてにしないと収支の計画が立てられない状況である。
小 計	9 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	補助を受けられる団体が限られている。
合 計	11 /15 満点中	10 /15 満点中	
総合評価	B	B	

⑦これまでに実施した改善点

商工観光課主管の補助金に限らず、全庁的に補助率を見直した。
平成15年度には一部で不正受給が発覚したため、返還させた。

⑧今後改善すべき点

不正受給のないよう再発防止に努める。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1205
事業コード		事務事業名	各種商工団体補助事業	
根拠法令等	蒲郡市補助金交付規則		C規則	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業・工業

②事務事業の内容

対象（受益者）	市内中小企業の加盟する団体に対して
手 段	運営事業費の一部を補助することによって
想定する成果	各団体の発展・活性化を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
総事業費	23,934,006円	21,949,128円	25,476,182円
補助対象額	14,016,911円	12,023,004円	15,097,630円
補助金交付額	6件 2,340,000円	6件 2,340,000円	6件 2,340,000円
市商連運営事業費補助金	1,100,000円	1,100,000円	1,100,000円
鉄工会運営事業費補助金	650,000円	650,000円	650,000円
三河繊維産元運営事業費補助金	200,000円	200,000円	200,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
	総事業費に占める補助金額の率	補助対象事業費に占める補助金の率
成果指標の説明	補助金交付額／総事業費	補助金交付額／補助対象額

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	9.0%
	実績	9.8%	10.7%	—
成果指標 ②	計画	—	—	15.8%
	実績	16.7%	19.5%	—
事業費	事業費	2,340	2,340	2,300
	人件費	480	473	479
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	2,820	2,813	2,779
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,820	2,813	2,779

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	各団体の運営事業費を補助することにより、団体の発展・活性化に寄与している。
経済効率性	2	1	補助対象金額に対して定額補助にしているため、効率性はよいと思う。
事務効率性	3	2	前年に各団体から要望書を徴収しており、それに基づき予算化しているため事務効率は良好である。
必要性	2	2	補助金を入れないと予算が立てられない団体もあるが、中には繰越金の方が補助金額より多いところもある。
小計	9 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	2	2	補助を受けられる団体が限られている。
合計	11 /15 満点中	9 /15 満点中	
総合評価	B	C	

⑦これまでに実施した改善点

商工観光課主管の補助金に限らず、全庁的に補助率、補助金額を見直した。

⑧今後改善すべき点

一部団体では、補助金額よりも翌年度繰越金が多いものがある。全庁的な見直しが必要であろう。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	テックスビジョンミカワ事業	
根拠法令等	なし		Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業

②事務事業の内容

対象（受益者）	テックスビジョンミカワ開催委員会に対して
手 段	テックスビジョンミカワの運営負担金を交付し、その活動を支援することにより
想定する成果	地域の繊維産業の振興を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
事業負担金	6,650,000円	6,650,000円	6,650,000円
総事業費	15,592,543円	14,719,086円	16,700,000円
事業内容	テキスタイルフェア・産地活性化講演会・ファッションコンテスト・新素材新商品コーナーなど		
入場者数	10,000人	12,000人	13,000人

④成果指標

成果指標名	①	②
	負担率	入場者率
成果指標の説明	負担金額／総事業費×100	入場者数／人口×100

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	39.8%
	実績	42.6%	45.2%	—
成果指標 ②	計画	—	—	15.9%
	実績	12.2%	14.6%	—
事業費	事業費	6,650	6,650	6,650
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	8,303	8,273	8,321
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,303	8,273	8,321

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	繊維産業の低迷が続く中、繊維のまち「がまごおり」のPRが図られるなど、当初の目的は達成されている。
経済効率性	2	1	横ばい状態であった入場者も、昨年度にファッションコンテストをラグーナ蒲郡で開催したことにより県内外の人の関心を集め入場者増に繋がるなど、ある程度の成果を上げている。
事務効率性	2	1	平成15年度からファッションコンテストをラグーナ蒲郡で開催するようになり市職員の事務量は増えているが、人員にみあった成果をあげている。
必要性	2	2	蒲郡市の地場産業である繊維産業の活性化を図るため、今後必要である。
小計	8 /12 満点中	6 /12 満点中	
市民参加度	2	2	併催イベントとして市民参加の趣味とふれあいの手工芸展を開催している。
合計	10 /15 満点中	8 /15 満点中	
総合評価	B	C	繊維産業の低迷が続く中、このイベントは50年の歴史があり、市民にもすっかり認知された事業として繊維産業の活性化に貢献している。

⑦これまでに実施した改善点

当初は市民体育館で開催していたが、ファッションコンテストが開始された平成6年から市民会館で開催するようになった。その後、商工会議所の新築に伴いファッションコンテスト以外は、会議所を主会場として開催しているが、平成15年度からファッションコンテストについては、ラグーナ蒲郡にて開催している。

⑧今後改善すべき点

昨年度ファッションコンテストは目先を変えラグーナ蒲郡を舞台に実施して好評を得たように、マンネリ化を 방지、市民がより楽しめるようなイベントの内容をさらに充実していく必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	織物文化普及事業	
根拠法令等	なし		Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市の住民に対し
手 段	アンテナショップ夢織人において、手織り教室を開講することで
想定する成果	蒲郡市の伝統産業である繊維産業の伝承及び普及を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
募集人員数	10人	10人	10人
応募者数	10人	11人	13人
織物文化普及事業	主力地場産業である繊維産業の活性化を図る目的の一環で、織物を文化と捉えた市民向けの手織教室等を開催する。手織機10台で教室は10回開催する。		

④成果指標

成果指標名	①	②
	参加者率	手織教室1回当たりの経費
成果指標の説明	応募者数／募集人員数	講師謝礼／10回

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	130.0%
	実績	100.0%	110.0%	—
成果指標 ②	計画	—	—	15
	実績	15	15	—
事業費	事業費	2,793	382	379
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	2.0
	合計	4,446	2,005	2,050
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,446	2,005	2,050

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	手織教室は募集人員に対し、常に参加者が満杯状態になるなど、初期の狙いが達成されている。
経済効率性	3	3	少ない予算の中で、市民の織物（繊維産業）についての関心が生まれてきている。
事務効率性	2	2	事務は担当課で対応していて、人員にほぼみあった成果をあげている。
必要性	2	2	蒲郡市の地場産業である繊維産業の活性化を図るため、今後必要である。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	1	2	手織機が10台と限られているため、参加者が限定されてしまう。
合計	10 /15 満点中	11 /15 満点中	
総合評価	B	B	地場産業である繊維産業についての伝承及び普及が徐々ではあるが図られている。

⑦これまでに実施した改善点

手織教室は、昼の時間帯で実施していたが、平成16年度から働いている人も参加しやすいように、時間帯を夕方の午後6時からとした。

⑧今後改善すべき点

手織機が現在10台と少ないため、より多くの人に参加できるよう開催回数及び手織機を増やすことが必要と思われる。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	地場産品PRグッズ開発事業	
根拠法令等	なし		Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	雇用

②事務事業の内容

対象（受益者）	ミカワテキスタイルネットワーク協議会に対し
手段	地場（繊維）産業の特色あるPRグッズの製作を委託することにより
想定する成果	雇用の促進を図り、製作したグッズにより蒲郡市の繊維産業を全国にPRする。

③事業の概要

項目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
補助金額	—	22,416,000円	22,416,000円
従事労働者数	—	9社 28人	11社 20人
新規労働者数	—	9社 23人	2社 3人
地場産品PR事業	15年度は三河縞ハンカチ83,000枚とカゴストリ-600枚を製作した。平成16年度は三河縞ランチョンマット83,000枚と手織場等の「のぼり」1,600枚を製作する予定。		

④成果指標

成果指標名	①	②
新規就業者率	新規就業者数	人件費率
成果指標の説明	新規就業者数／従事労働者数	人件費／総事業費

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	15.0%
	実績	—	82.1%	—
成果指標 ②	計画	—	—	73.8%
	実績	—	75.6%	—
事業費	事業費	—	22,416	22,416
	人件費	—	812	835
	(人数)	—	0.1	0.1
	合計	—	23,228	23,251
財源内訳	国	—	—	—
	県	—	22,416	22,416
	市債	—	—	—
	その他	—	—	—
	一般財源	—	812	835

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	雇用の促進を図りつつ、蒲郡市のPRに必要な魅力的なグッズを作ることができた。
経済効率性	3	3	補助率10/10の補助金により事業を達成できた。
事務効率性	2	2	委託事業であるが、突発的なことや細かい事務は担当課で対応している。
必要性	2	2	蒲郡市の地場産業である繊維産業の活性化を図るため、今後必要である。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	0	1	
合計	9 /15 満点中	10 /15 満点中	
総合評価	B	B	低迷が続く繊維産業の雇用の促進及び活性化に貢献している。

⑦これまでに実施した改善点

平成15・16年度の2ヵ年事業である。

⑧今後改善すべき点

平成15・16年度の2ヵ年事業である。

⑨平成17年度予算に反映する項目

この事業の実施にあたっては、県の運営する緊急地域雇用創出特別基金事業を活用してきましたが、平成16年度をもって終了する補助事業であるため、現在のところ平成17年度は予算化する計画はありません。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業振興部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	海辺の文学記念館管理事業	
根拠法令等	蒲郡市文学記念館の設置及び管理に関する条例		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民及び観光客のために
手 段	文学記念館を開館、運営することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
維持管理費	5,471,609円	4,661,257円	5,444,000円
入場者数	16,816人	16,268人	17,000人
時手紙件数	418件	870件	1,000件

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	入場者1人当たりの経費 維持管理費/入場者	入場者のうちの時手紙利用割合 時手紙件数/入場者数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	320円
	実績	325円	286円	—
成果指標 ②	計画	—	—	5.9%
	実績	2.5%	5.3%	—
事業費	事業費	5,471,609	4,661,257	5,444,000
	人件費	2,478	2,435	2,505
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	5,474,087	4,663,692	5,446,505
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,474,087	4,663,692	5,446,505

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	時手紙の利用者は増加している。さらに利用者に魅力あるものを研究していきたい。
経済効率性	3	3	維持管理費用は安定しており、3人の臨時職員がうまく配置されている。
事務効率性	2	2	市職員と臨時職員の事務がうまく分担されており、成果をあげている。
必要性	3	1	教育施設だが、観光施設としても魅力があり、観光客からも非常に好評な施設である。竹島地区の観光魅力向上のために必要な事業である。
小計	11 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	2	2	臨時職員の説明時に観光客との会話でいろいろな要望を聞く機会が多くある。
合計	13 /15 満点中	11 /15 満点中	
総合評価	A	B	年々参観者も増えており、旧常盤館跡地に立つ記念館からのぞむ竹島の風景が、蒲郡市を代表する観光地の魅力づくりに果たす役割は多大なものがある。

⑦これまでに実施した改善点

記念館を訪れる人が手紙をかき、数年後に配達してもらう時手紙。蒲郡市観光協会による抹茶の接待と地元になんだ手作りの土産物販売など、訪れる人のための魅力づくりに努めている。

⑧今後改善すべき点

博物館が所蔵している常盤館に関する展示品以外に、個人が所蔵しているものを展示していきたい。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業振興部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	竹島水族館維持管理事業	
根拠法令等	蒲郡市竹島水族館の設置及び管理に関する条例		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民及び観光客に
手 段	水族館を開館、運営することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
運営管理委託料	92,177,814円	94,307,658円	95,000,000円
使用料収入	55,325,846円	56,786,180円	56,000,000円
入場者数	136,155人	140,103人	140,000人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	収益率	入場者一人当たりに必要な一般財源
成果指標の説明	使用料収入/運営管理委託料	(運営管理委託料－使用料収入)/入場者数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	58.9%
	実績	60.0%	60.2%	—
成果指標 ②	計画	—	—	279円
	実績	270円	268円	—
事業費	事業費	92,177	94,307	95,000
	人件費	2,478	2,435	2,505
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	94,655	96,742	97,505
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	55,326	56,786	56,000
	一般財源	39,329	39,956	41,505

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	収益率は一定で、入場者もここ数年横ばいであるため、一人当たりの費用もほぼ固定している。
経済効率性	2	2	使用料収入だけでは、維持管理費用をまかなえていないが、老朽化しているため維持管理費用は増加している。
事務効率性	2	2	管理運営を都市施設管理協会に委託しており、人員にみあった成果をあげている。
必要性	2	1	竹島地区だけでなく、市を訪れる観光客からの要望が非常に強い事業である。民間や第三セクターが実施している例も多いため、今後検討が必要である。
小計	8 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	2	2	水族館のありかたについて、地元竹島地区の将来を考える会で検討してもらっている。
合計	10 /15 満点中	9 /15 満点中	

総合評価	B	B	参観者は一定だが、水族館は観光都市がまごおりの魅力づくりに必要な施設であり、今後は老朽施設の維持管理を行いながら、市の直営事業で行うかどうかを見極める必要があると思われる。
------	---	---	--

⑦これまでに実施した改善点

通常展示のほかに、企画展やイベント（夜の水族館観察会、磯の生物観察会、水族館裏側見学会）を定期的で開催して誘客をはかっている。

⑧今後改善すべき点

施設の老朽化とともに、水槽の漏水、設備の故障などが多く見受けられ、当面は現在の設備維持に努めていきたい。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	三河大島海水浴場運営管理事業	
根拠法令等	海水浴場における衛生対策		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民及び観光客のために
手 段	夏季期間中三河大島に海水浴場を開設し、運営することにより
想定する成果	地域の観光振興をはかる

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
利用客数	21,000人	10,100人	7,273人
経常的経費	5,461,550円	4,664,636円	4,665,000円
工事請負費	1,984,500円	1,785,000円	1,800,000円
臨時的経費	4,592,490円	3,245,393円	2,782,000円
棧橋使用協力費	887,881円	791,801円	700,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	委託料充足率	利用者一人当たりの必要一般財源
成果指標の説明	棧橋使用協力金/維持管理費×100	(維持管理費－棧橋利用協力費)/利用者数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	7.6%
	実績	7.4%	8.2%	—
成果指標 ②	計画	—	—	1,177円
	実績	531円	883円	—
事業費	事業費	12,055	9,711	9,264
	人件費	826	811	835
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	12,881	10,522	10,099
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	887	791	700
	一般財源	11,994	9,731	9,399

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	施設の特異性から臨時の修繕費などが発生し、通常の維持管理費だけでは、渡船関連費用が賅えない。
経済効率性	2	1	現地に精通している蒲郡観光汽船㈱に関連業務を委託することにより、コスト低減をはかっている。
事務効率性	2	2	棧橋などの管理を委託することにより、職員の事務量は少なくなっている。
必要性	2	2	海の町がまごおりにとって貴重な観光資源である、自然環境が良好な観光施設であること等を考慮すれば、すぐに廃止する状況にない。
小計	7 /12 満点中	6 /12 満点中	
市民参加度	2	2	市内の利用者会教団と利用計画について、積極的に意見を聴取している。
合計	9 /15 満点中	8 /15 満点中	
総合評価	B	C	海が汚れ、プールの普及とともに利用者も激減し、海水浴場は苦戦しているが、豊富な観光資源としての魅力をもった三河大島は、今後の活用方法次第で有効な事業となりうる。

⑦これまでに実施した改善点

毎年渡船の就航開始前と終了後に行っている定期航路運営会、海浜警備等打合会議のほか、海水浴場を取り巻く環境を改善するため、平成15年度から大島通年利用検討委員会を発足させた。

⑧今後改善すべき点

自然が豊富に残された貴重な観光資源を最大限に活用していくため、海水浴だけでなく、いろいろな三河大島の魅力づくりをすすめていく必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	自然公園法手続事業	
根拠法令等	自然公園法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民及び団体に
手 段	自然公園区域(17.37km ²)内の建築物や工作物などの許可手続きをすることにより
想定する成果	良好な自然公園の環境を保持する

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
申請件数(建築物)	1	1	2
申請件数(工作物)	20	13	30
許可数	16	14	32

④成果指標

成果指標名	① 自然公園法適正許可手続数	②
成果指標の説明	許可数/申請件数	

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	100.0%
	実績	76.2%	100.0%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費			
	人件費	826	811	835
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	826	811	835
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	826	811	835

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	自然公園内の許可申請について、適正な指導、助言を行い、すべての申請が許可された。
経済効率性	2	2	軽易な申請については、すべて書面審査をしており、問題のある件について現地調査を行っている。
事務効率性	2	2	自然公園法の許可申請事務について市と県の事務分担が明確にされているため、事務が効率的にすすめられている。
必要性	3	3	自然環境保護が重要視されているなかで、自然公園内に不適切な建築物や工作物を規制していく必要がある。
小計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	1	1	直接に許可申請について、市民からの意見をきくことはないが、自然公園についての市民からの要望等は把握するよう努めている。
合計	11 /15 満点中	11 /15 満点中	
総合評価	B	B	三河湾国定公園を有する本市においては、自然公園法の事務手続きは件数も多く、自然環境保護のため重要な事務である。

⑦これまでに実施した改善点

自然公園法の事務に関し、申請者に不便をかけないように、また迅速に事務をすすめていくため、複数の職員が指導、助言を行えるよう職場内にて研修を行った。

⑧今後改善すべき点

自然公園内の建築物や工作物の建築などには、細かな規制があり、許可申請が必要であることが十分知られていないことがあるため、いっそうの住民周知に努めていきたい。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	蒲郡市観光協会運営等補助事業		
根拠法令等	蒲郡市補助金等交付規則	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市観光協会及び協会会員に対して
手 段	観光客誘致事業促進のため、運営事業費等の補助をすることにより
想定する成果	観光事業の振興を図る

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
総事業費	42,213,240円	62,869,152円	72,843,500円
補助総額	27,280,000円	38,295,500円	49,285,000円
年間観光客数	7,948,981人	8,167,512人	9,000,000人
主要事業内容	観光展事業、キャンペーン事業、ポスター作成事業、マルチメディア宣伝事業、職員・事務所管理費	観光展事業、キャンペーン事業、ポスター作成事業、マルチメディア宣伝事業、クーポンブック作成事業、観光ビジョン策定事業、職員・事務所管理費	観光展事業、キャンペーン事業、ポスター作成事業、マルチメディア宣伝事業、クーポンブック作成事業、観光ビジョン策定事業、花博・万博対策事業、修学旅行等誘致促進事業、職員・事務所管理費

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	総事業費に対する補助率 補助総額/総事業費×100	観光客の伸び率 現年度年間観光客数/前年間観光客数×100

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	67.7%
	実績	64.6%	60.9%	—
成果指標 ②	計画	—	—	110.2%
	実績	161.9%	102.7%	—
事業費	事業費	16,400	26,055	27,005
	人件費	8,263	8,117	8,353
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	24,663	34,172	35,358
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	24,663	34,172	35,358

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	観光協会実施の各事業の成果が現れ、一時落込んだ観光客数の増加がみられる。
経済効率性	2	2	観光客誘致及び観光振興に効果のある事業に絞って実施する必要がある。
事務効率性	2	2	限られた予算で事業を推進していくために、市職員が携わる事務が徐々に増加している。
必要性	3	2	まだまだ、観光客数は微増であるため、浜名湖花博、愛・地球博に向けて誘客増加の強化を図る必要がある。
小計	10 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	今後、市民全員を巻き込んでいく必要がある。
合計	12 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	現在、蒲郡市観光ビジョンを策定中で平成16年10月に完成予定であるので、今後はビジョンに基づいて事業を展開していく必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

蒲郡市観光協会の年間の事業計画を事務局（商工観光課）で、作成し実施してきたものを見直して、協会会員の各地区の若手で構成した企画推進会議を設置し、事業計画を練り、事業を実施している。また、宿泊者数増加を目的とした宿泊CP会議も同様に設置し、有益な事業展開をしている。
--

⑧今後改善すべき点

行政主導な面は、段々改善されてきているが、観光協会の運営及び事業実施を観光業界の会員主導で行うという意識を会員に持たせ、事業の強化を図る必要がある。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1212
事業コード		事務事業名	バリアフリー観光マップ作成事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け 基本目標

	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象（受益者）	障害を持つ市民及び観光客のために
手 段	バリアフリー観光マップを作成し、利用してもらうことにより
想定する成果	障害者に優しい観光地作りを目指し、観光振興を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
緊急雇用対策観光バリアフリーマップ作成事業委託料		2,788,000円	
身体障害者数(在住)	—	2,784人	—
マップ作成冊数		10,000部	
障害者対応トイレ数		31か所	
障害者対応宿泊施設数		26施設	

④成果指標

	①	②
成果指標名	マップ1部当たりの作成費用	マップ配布施設
成果指標の説明	マップ作成事業委託料/マップ作成冊数	蒲郡市観光協会 市内4地区観光協会 障害者関連団体施設（予定）

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画		—	
	実績		279円	
成果指標 ②	計画		—	
	実績		5箇所	
事業費	事業費		2,788	
	人件費		812	
	(人数)		0.1	
	合計		3,600	
財源内訳	国			
	県		2,788	
	市債			
	その他			
	一般財源		812	

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	市内観光協会及び宿泊施設に置いてあり、障害者の観光客には活用されている。
経済効率性	1	1	1万部作成。調査費等を考えても、単価は安価ではない。
事務効率性	2	2	マップ作成にあたり、調査、作成をNPO法人市民クラブに委託した。
必要性	3	3	新しい観光客層（障害者）を開拓する意味では、必要なものであり、観光振興に有益である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	2	障害者対象事業なので、特定の人に限られる。
合計	9 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	観光客のみでなく市内在住の障害者が活用出来るように、配布方法も再考する必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

平成15年度のみで終了した。

--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載